

# 外郭団体基本情報

## 1. 団体概要

2021年 5月 20日  
外郭団体監理委員会資料2-1

団体名	一般社団法人町田市観光コンベンション協会		
法人番号	9012305001432		
所在地	町田市原町田4-10-20 ぼっぼ町田 地下1階		
電話	042-724-1951	FAX	
ホームページアドレス	http://machida-guide.or.jp/		
代表者	会長 小島 政孝		
設立年月日	2009年4月1日		
設立根拠法令	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律		
団体設立後から現在に至るまでの主な経緯	当財団は、〇〇を目的としていた「町田市〇×振興公口協会」が統合され、20〇×年4月に町田市により設立された。その後、20×〇年4月に町田市〇〇の指2014年3月までの間で、××事業及び施設の管理に町田市〇〇の指定管理を受けた。		
設立目的	「自然・歴史・文化・産業を活用した心豊かな観光まちづくりと活用、既存観光資源の見直し並びに体系立。		
事業内容	・観光及びコンベンションに関する情報収集、企画立案及び調査分析 ・旅行業法に基づく旅行業 ・観光及びコンベンションに関する各種講座、イベント等の企画及び実施 ・観光及びコンベンション関連施設の管理運営及びその受託 ・観光及びコンベンションに関する刊行物及び図書の発行等による情報提供 ・観光及びコンベンションに関する土産品等の宣伝、販売及び開発奨励 等		
情報公開制度の有無	有	個人情報保護制度の有無	有
人材育成計画策定の有無	無	市所管課	経済観光部観光まちづくり課
外部監査の実施状況	実施体制 町田市に準じた規定を20〇年〇月に整備済み。		
	実施内容(又は実施しない理由) 町田市に準じた規定を20〇年〇月に整備済み。		

現行の基本情報調査票の項目

所管課の関与・指導監督を評価する項目【追加】

外郭団体の運営状況を評価する項目【追加】

包括外部監査の意見を踏まえ追加する項目【追加】

赤枠は、基本情報公表団体については記載を省略できるものとする。

## 2. 資本金等

2021年3月31日現在

資本金・基本金	3,000 千円	うち市の出資・出捐金	2,000 千円	市出資・出捐割合	66.7 %									
市出資出捐金額の根拠	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律153条2項に定められた300万円を拠出している。													
市以外の主な出資者	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>出資額(千円)</th> <th>出資率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名称	出資額(千円)	出資率(%)	なし			なし		
名称	出資額(千円)	出資率(%)												
なし														
なし														
損失補償	0 千円	借入保証	0 千円	信託	0 千円									

## 3. 財務状況

### (1) 貸借対照表

単位:千円

項目	2018年度	2019年度	2020年度	対前年増減比	備考 ※増減の理由等
総資産	22,175	24,338	20,201	▲ 17.0	
流動資産	17,584	21,081	18,020	▲ 14.5	
流動資産以外の資産	4,591	3,257	2,181	▲ 33.0	
負債	16,355	13,471	7,048	▲ 47.7	
流動負債	15,134	12,810	6,909	▲ 46.1	
固定負債	1,221	661	139	▲ 79.0	
うち借入金	0	0	0	0.0	
正味財産合計	5,820	10,867	13,153	21.0	
一般正味財産	2,820	7,867	10,153	29.1	

### (2) 正味財産増減計算書

単位:千円

項目	2018年度	2019年度	2020年度	対前年増減比	備考 ※増減の理由等
経常収益	115,869	117,406	106,168	▲ 9.6	
うち市補助金	63,686	65,997	65,131	▲ 1.3	
うち市委託料	14,060	22,052	14,499	▲ 34.3	
うち市指定管理料	35,000	36,000	36,000	0.0	
経常費用	116,458	110,654	103,068	▲ 6.9	
経常損益	▲ 589	6,752	3,100	▲ 54.1	
特別利益	0	0	0	0.0	
特別損失	7	0	0	0.0	
当期損益(税引後)	▲ 667	5,047	2,286	▲ 54.7	

※各団体が準拠すべき会計基準等により、下記のとおり読み替える。

[会社法人]経常収益→売上高(又は営業収益)+営業外収益 経常費用→売上原価+販売費+一般管理費+営業

[公益法人]経常収益→一般正味財産増減の部の経常収益 経常費用→一般正味財産増減の部の経常費用

特別利益→一般正味財産増減の部の経常外収益 特別損失→一般正味財産増減の部の経常外費用

当期損益→当期一般正味財産増減額

[社会福祉法人]経常収益→サービス活動収益+サービス活動外収益 当期損益→当期活動増減差額

[土地開発公社]経常収益→事業収益+その他経常収益 経常費用→事業原価+販売費及び一般管理費+その他常

## (3) 財務指標

単位: %

項目	2018年度	2019年度	2020年度	備考 ※増減の理由等
① 自己資本比率〔純資産/資産×100〕	26.2	44.7	65.1	
② 借入金依存度〔借入金負債/資産×100〕	0.0	0.0	0.0	
③ 流動比率〔流動資産/流動負債×100〕	116.2	164.6	260.8	
④ 経常収支比率〔経常収益/経常費用×100〕	99.5	106.1	103.0	
⑤ 当市補助金比率〔市補助金/経常収益×100〕	55.0	56.2	61.3	
⑥ 当市委託料比率〔市委託料/経常収益×100〕	12.1	18.8	13.7	
⑦ 当市指定管理料比率〔市指定管理料/経常収益×100〕	0.3	0.3	0.3	

## (4) その他

適用会計基準等の状況			
適用会計基準	新公益法人会計基準(平成20年改正基準)		
財務諸表の確認	税理士による確認を受けている		
団体の活動に必要な資産の状況			
区分	所有形態 内容(建物名称、取得経緯、公有財産使用許可理由など)		
土地	公有財産 町田市〇〇:使用許可 町田市〇▽:使用許可		
建物	公有財産 町田市〇〇:使用許可 町田市〇▽:使用許可		
設備	公有財産 町田市〇〇:使用許可 町田市〇▽:使用許可		
経営環境の変化に関する今後の見通し			
外部要因によるもの	20××年度に町田市〇▽が開館し指定管理者の指定を受けたことで、町田市〇〇との事業展開に当たり運営・管理を一体的に行うことにより相乗効果や経費削減を見込めるようになった。		
内部要因によるもの	町田市〇▽の開館に伴い、プロパー職員を増員した。		
資産運用の方針と状況			
基本財産は全て定期預金として現金保有している。運用資産については現在保有していない。資産運用については「一般財団法人町田市〇〇▽財団資産運用規定」に基づき適正かつ効率的に運用している。なお、有価証券や仕組債は保有していない。			
引当金の状況			
	名称 内容 規程有無 残高(千円)		
①	なし		
②			
③			
収支の改善に向けた取り組み ※補助金が削減された場合の方策を含む			
収入増加の方策と実施状況	収入の安定化を図るため、会員数の確保と増加に引き続き努めるほか、〇〇事業を拡大することによって更なる収入増加を図る。なお、今後補助金が引き続き削減された場合は・・・		
経費削減の方策と実施状況	経費削減の取り組みとして、〇×の効率化を図った。前年度比で▽の効果が上がっている。		

## (5) 当該団体への財政的支援

単位: 千円

項目	2018年度	2019年度	2020年度	備考 ※増減の理由等
① 補助金(助成金)	63,686	65,997	65,131	
② 利子補給金	0	0	0	
③ 税の減免額	0	0	0	
④ 貸付金残高	0	0	0	
⑤ 債務保証、損失補償契約に係る債務残高	0	0	0	
(参考)委託料	14,060	22,052	14,499	
(参考)指定管理料	35,000	36,000	36,000	

【補助金】※特定の補助対象者となっているもののみ記載

① 補助金名	〇〇〇〇〇補助金		
補助金の内容	〇△を目的として、□▽事業に要する費用の一部を補助金として交付している。□▽事業は×〇を対象に□〇を図る事業で、事業の概要は〇◎である。		
補助金の積算根拠	補助対象事業に要する対象経費(◎〇費、▲×費、□〇費)の3分の2以内の額とする。		
補助額(千円)	2018年度	2019年度	2020年度
実績(単位)	2018年度	2019年度	2020年度

(参考)【委託】※特命随意契約によるもののみ記載

① 委託名(随意契約)	△△△△△委託		
委託の内容	市から、事業費補助として□▽事業に〇円、◎×事業に〇円の補助金を交付している。		
委託料の積算根拠	予算見積		
随意契約の理由	本団体は、〇〇〇〇△△△△のため設立された団体であり、□□□□××××を目的とする本業務の担い手として最適であることから随意契約を行っている。		
委託料(千円)	2018年度	2019年度	2020年度
実績(単位)	2018年度	2019年度	2020年度

(参考)【指定管理】※非公募によるもののみ記載

① 指定管理施設名	□□□□□センター		
指定管理の内容	□□□□□センターの施設管理、▲▲の使用許可		
非公募の理由	団体の設立趣旨や活動実績から判断して、□□□□□センターの指定管理者として適正であるため。		
指定管理料(千円)	2018年度	2019年度	2020年度
実績(単位)	2018年度	2019年度	2020年度

4. 役職員数

単位:人

項目	2018年度	2019年度	2020年度	備考 ※増減の理由等
役員	34	33	32	
うち市退職者	0	0	0	
うち市あて職	2	2	2	
正職員	3	2	2	
うち市退職者	0	0	0	
うち市からの派遣	0	0	0	

5. 主要事業の実績

主要事業の内容と評価				
①	事業名	事業内容		
	◎◎◎事業	◎◎事業を市民が主催(企画)あるいは参加する機会を提供し、内外の多様な人々との交流を図ることを目的とする。		
	事業費	2018年度	2019年度	2020年度
	事業実績	2018年度	2019年度	2020年度
	実入場者数の割合	目標 実績	80 60	80 60
②	事業名	事業内容		
	◎◎◎事業	◎◎事業を市民が主催(企画)あるいは参加する機会を提供し、内外の多様な人々との交流を図ることを目的とする。		
	事業費	2018年度	2019年度	2020年度
	事業実績	2018年度	2019年度	2020年度
	実入場者数の割合	目標 実績	80 60	80 60
③	事業名	事業内容		
	◎◎◎事業	◎◎事業を市民が主催(企画)あるいは参加する機会を提供し、内外の多様な人々との交流を図ることを目的とする。		
	事業費	2018年度	2019年度	2020年度
	事業実績	2018年度	2019年度	2020年度
	実入場者数の割合	目標 実績	80 60	80 60
団体の自己評価	各事業における実入場者数の割合自体は横ばいであるが、毎年度一定の来場者があり、市民活動が活発に行われ、地域文化の向上及び青少年の育成に貢献したと認識している。主催事業についてはいずれも安価な料金で良質な音楽を提供し、来場者からは満足を得た。			
市所管課の評価	引き続き無料事業の入場者数を確保するとともに、有料事業の入場者数の増加に努めることが収益確保の観点からも重要である。			
事業の効果をどのように測定し、次年度の事業に活かしているか				
来場者数の推移及び利用者満足度調査を実施し、好評のイベントについては回数を増やす方向で検討している。				
同様の役割を担う類似団体や企業の存在有無	市内の市民団体や商工会議所との協働で各種のイベントを実施できるスキルと実績を持つ団体は他にないと考えている。			

6. 当該団体への監査、外郭団体監理委員会による評価の結果(直近3ヵ年。ただし、未対応のものは除く)

**指導監督の実施状況**

来場者数の推移及び利用者満足度調査を実施し、好評のイベントについては回数を増やす方向で検討している。

**【外郭団体監理委員会(2014・2015年度)】**

＜対応済み＞

(1)財務諸表のチェック体制について、監事による監査など、法人組織としてのチェックを一層充実するように助言・提案を受けた。

協会では、四半期毎に市職員、協会職員、協会が顧問契約を結んでいる税理士事務所の担当者を交えて会計監査及び財務分析を実施することとした。また、毎年5月に監事による監査を行っている。

(2)協会が公益性と住民サービスの向上を図るための適切な収益構造のあり方と市の支援(補助金交付)のあり方について整理するように助言・提案を受けた。

市では観光施策における協会との役割分担と財源の考え方にに基づき、公益的事業、共益的事業、収益事業の区分に応じた事業見直しを実施し、2015年度事業計画書・予算書に反映した。

(3)協会の主体性発揮や組織ガバナンスを構築するための検討が行われているが、事務局職員が主導しており、理事の主体的な参画といった観点からやや不十分であり、各理事は一般社団法人の理事として、当事者意識をより強く持って経営に参画する必要があるとの助言・提案を受けた。また、具体的な数値目標を設定した計画を策定する等、将来を見据えた経営を行うべきであるとの助言・提案も受けた。

協会では、主体性を発揮するための理事会の在り方や機能について三役会等で、体制の見直しを行うことを検討している。企画・総務・広報についての部会を作り、それぞれの部会で専門分野の検討を行うことで、協会の運営を行っていく内容で検討を進めている。

7. 市所管課所見(現状と課題、今後の取り組み、外郭団体の必要性)

昨年度に引き続き、今年度も当期損益がプラスになったことを評価する。

また今後、企画・総務・広報を担当する部会を作り、それぞれの部会を副会長が中心となって運営していくという体制を構築しようと検討している。新しい体制等工夫していくことで、これまで以上に主体的な協会運営をしていくことを期待する。

さらに、2017年5月に策定した「町田市観光まちづくり基本方針」に基づく事業を展開することで、観光入込客数や観光消費額等の数値目標を達成することを期待する。

【注記】

1. 金額について、千円未満の数値については、四捨五入しています。

2. 複数の欄の合計値を他の項目の数値と一致させる必要がある項目については、四捨五入を行ってずれが生じてしまう適宜端数調整を行っています。